

外部評価委員の皆様

西東京市立栄小学校
校長 長尾 信一

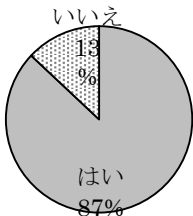
学校教育に対するアンケートの結果について

保護者の皆様には、日頃より栄小学校の教育活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。今年度は、学校経営方針に沿って、10月と1月の2回、児童・保護者・教職員の3者アンケートを実施しました。結果と考察をご報告します。ここに見えるのは児童の姿の一部ではありますが、確かな成果が見て取れます。皆様と共に成果を確かめ、また課題に向き合ってまいりたいと思います。

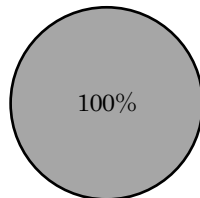
経営方針1 学力の基礎基本の定着を図る

経営目標1 朝学習、補習学習の充実を図る。

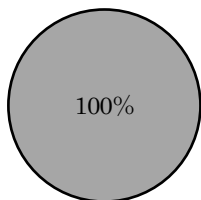
職員の自己評価；朝学習や補習学習で漢字・計算ドリルやプリントを毎週活用した職員の割合



児童の自己評価；「学習内容はよくわかる」と回答した児童が80%以上いる学級

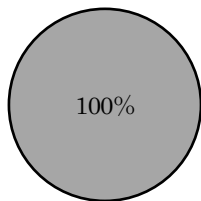


保護者アンケート；「お子様は基礎的な学習を理解している」と回答した保護者が80%以上いる学級

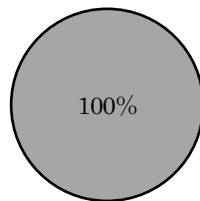


経営目標2 学習展開モデルを取り入れて、思考力・判断力・表現力を身に付ける。

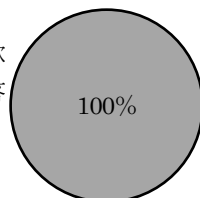
職員の自己評価；学習展開モデルを意識した授業を毎週実施した職員の割合



児童の自己評価；授業中すすんで考えていると回答した児童が80%以上いる学級

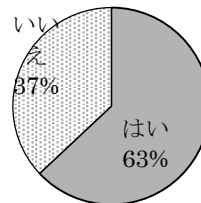


保護者アンケート；「お子様は意欲的に学習に取り組んでいる」と回答した保護者が80%以上いる学級

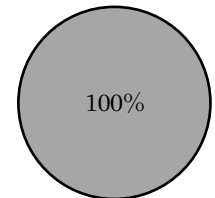


経営目標3 読書指導を充実する。

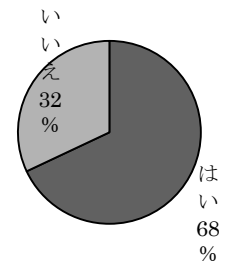
職員の自己評価；本に興味をもつような働きかけを1週間に1回以上実施した職員の割合



児童の自己評価；「学校ですすんで読書をしている」と回答した児童が80%以上いる学級



保護者アンケート；「お子様はすすんで読書をしている」と回答した保護者が80%以上いる学級



経営目標1；ドリル・プリントを活用し、知識・技能の定着を図っています。本校では特に漢字学習や算数で活用しています。

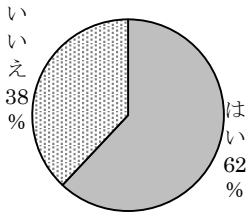
経営目標2；学習展開モデルは本校独自の授業の約束と形です。学習展開モデルは「めあての表示→課題把握→自力解決→対話・交流→まとめ・振り返り」の順で授業を展開することを指します。

1，2の児童のアンケート結果から学習の定着が図られてきているといえます。

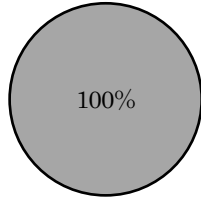
経営目標3；児童の評価を見ると、児童の読書に対する意識が高く、すすんで読書をしていることが分かります。読書は、言語能力だけでなく、他人の気持ちを推し量る等、人として大切な能力も育みます。本を読んでいる時の落ち着きは、物事に向き合う際の心のゆとりにもなります。本校では、一緒に読書をしたり、読み聞かせをしたり、面白かった場面を紹介したりすることを大切にしています。地域センターや、「もぐらの会」にも連携をお願いしています。図書委員会を中心に読書旬間の取り組みもしています。

経営目標 4 授業の中に対話的な場面を設定して、「話す力」「聞く力」を育成する。

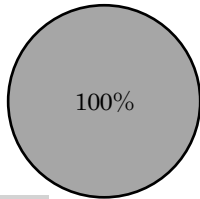
職員の自己評価；対話的な学習場面を、2日に1回授業の中に取り入れていると回答した職員の割合



児童の自己評価；「話し合いの場面で、めあてに気を付けて話している」と回答した児童が80%以上いる学級



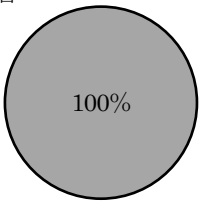
保護者アンケート；「お子様は話したり聞いたりする力が伸びた」と感じている保護者が80%以上いる学級



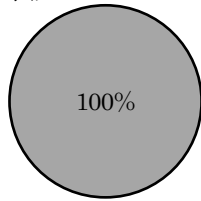
経営方針 2 豊かな人間性を育成する

経営目標 5 自己選択、自己決定ができるように指導し、自立心と自律心を育成する。

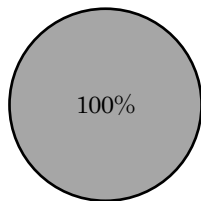
職員の自己評価；1週間に1回以上、思いやりや善悪の判断に基づいて行動するよう指導した職員の割合



児童の自己評価；自分のことは自分で言い、友達と協力していると回答した児童が80%以上いる学級

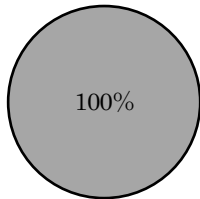


保護者アンケート；「お子様は自分のことは自分で言い、友達と協力している」と回答した保護者が80%以上いる学級

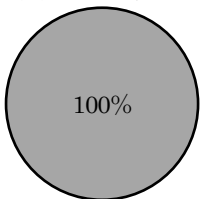


経営目標 7 いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。

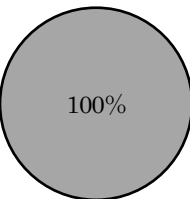
職員の自己評価；いじめ防止のための取り組みを行ったと回答した職員の割合



児童の自己評価；友達を大切にしていると回答した児童が80%以上いる学級



保護者アンケート；「お子様は友達と仲よくしている」と回答した保護者が80%以上いる学級

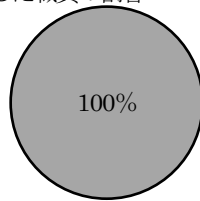


経営目標 4；コロナ禍で対話的な学習場面への制約があり、職員の自己評価が低くなっています。その一方で児童や保護者の方の評価は高くなっています。グループでの話し合い活動以外にも、話し合う場面は多くあります。昨年度までの2年間の研究で身に付けた力を様々な学習場面で活用できていることがアンケート結果から伺えます。

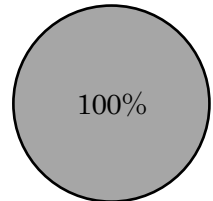
本年度の研究は、主題を「主体的に考え、学び合う児童の育成」とし、体育科の指導法について全教職員で研修を行いました。コロナの影響で、体育授業の活動が制限される中、1学期は本校児童の実態について話し合い、全体で共有しました。「めあてをもち、友達とかかわり合いながらすすんで学習する」という児童の姿を目指し、授業を計画しました。2学期は講師を招いての実技研修や、各学年が実践してきた授業実践を報告する場を設けました。指導法を工夫することで、「子供たちがすすんで運動に取り組むことができる」ということが、各学年の実践から見えてきました。

経営目標 6 児童に肯定的な評価を行い自己肯定感及び自尊感情を育成する。

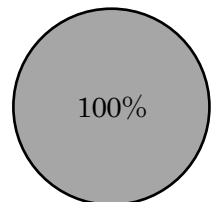
職員の自己評価；児童の行動や成果物に対して肯定的な評価を一日に3人以上実施していると回答した職員の割合



児童の自己評価；自分にはよいところがあると回答した児童が80%以上いる学級



保護者アンケート；「ご家庭でお子様のよいところを話題にしている」と回答した保護者が80%以上いる学級



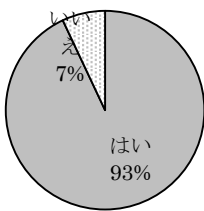
いずれの目標に対しても、職員の自己評価・児童の評価・保護者の評価は、大変高い結果となりました。

経営目標 5・6・7の児童の自己評価においては、いずれも肯定的な評価が高くなりましたが、10月のアンケート結果に比べると、若干数値の低下が見られました。長期に及ぶ、感染症対策のための自粛生活が児童の心理面に影響している可能性が考えられます。毎学期「お話タイム」を通して児童と個人面談を実施しています。コロナ禍でも前向きに過ごしている、栄小の子供たちですが、心のケアをしていけるように、職員一丸となって子供たちと向き合っていきます。

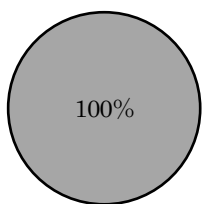
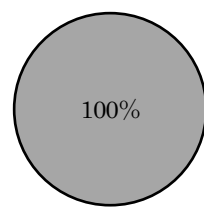
経営方針3 体力の向上を目指す

経営目標8 持久走やなわとびの強化旬間を設けて、児童の体力向上を目指す。

職員の自己評価；強化旬間に於いて記録更新のための働きかけを行った職員の割合



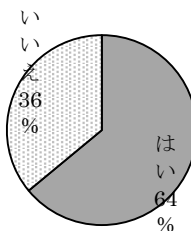
保護者アンケート；「お子様はすすんで運動に取り組んだ」と回答した保護者が80%以上いる学級



児童の自己評価；「すすんで運動に取り組んだ」と回答した児童が80%以上いる学級

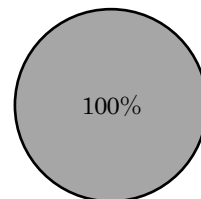
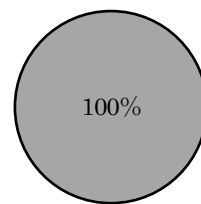
経営目標9 養護教諭や栄養職員と連携した保健指導・食育を実施する。

職員の自己評価；養護教諭や栄養職員と連携した保健指導・食育を年1回以上実施した職員の割合



保護者アンケート；「お子様は怪我や病気を防ぐという意識が高まっている」と回答した保護者が80%以上いる学級

児童の自己評価；前より怪我や病気になるように気を付けるようになったと回答した児童が80%以上いる学級



1月短なわ旬間の様子

〈養護教諭より〉

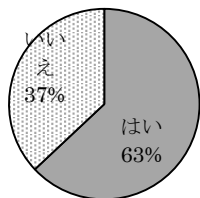
児童の自己評価、保護者アンケート共に「怪我や病気になるように気を付けるようになった」が100%でした。ご家庭で毎日、健康観察表に検温し健康状態を確認し記入したり、1日10回以上の手洗いなど健康状態を意識したり、予防に気を付け行動しました。学校でも日常的に感染予防や健康状態の把握に努めました。ご家庭との連携の大切さを実感しました。

今年度、計測時に保健室で行っていた保健指導は密を避けることや保健室来室者対応を優先させるため行いませんでした。保健室来室時には怪我や病気に応じて個別指導を行いました。しかし予防の観点からは全体指導が有効だと考えますので、次年度は工夫をして食育、保健指導を行いたいと思います。

経営方針4 教育環境の充実

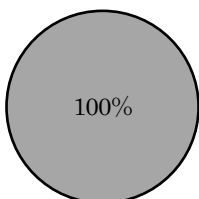
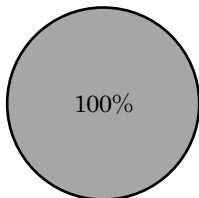
経営目標10 安全・人権・美化の観点で教育環境を整え、児童の安全を管理する。

職員の自己評価；安全・人権・美化の視点で、1週間に1回以上環境を整えていると回答した職員の割合



保護者アンケート；「お子様は『栄小のよい子のきまり』を守っている」と回答した保護者が80%以上いる学級

児童の自己評価；『栄小のよい子の生活』を守り、安全に気を付けて生活していると回答した児童が80%以上いる学級

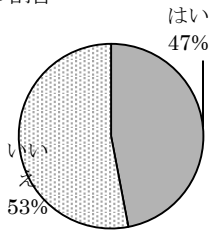


覚えていますか？「栄小のよい子の生活」
毎年4月にお手紙を配布しています。いくつかご紹介しますのでご家庭で話題にしてみてください。

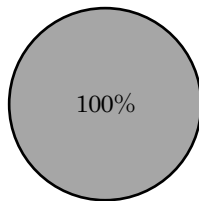
- 家族、友達、交通擁護の方、先生、近所の方には、気持ちの良いあいさつをします。
- 持ち物には、学年、組、名前を書きます。
- 晴れた日には、外で元気に遊びます。
- はっきりと丁寧な言葉づかいで話します。
- 自分の物、友達のもの、学校の物を大切にします。

経営目標 11 挨拶について指導し、他者と関係が作れるようにする。

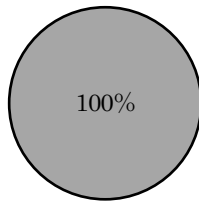
職員の自己評価；挨拶の指導について工夫した取り組みを行った職員の割合



児童の自己評価；すすんで挨拶をしていると回答した児童が80%以上いる学級



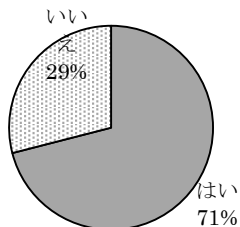
保護者アンケート；「お子様は挨拶を積極的にしている」と回答した保護者が80%以上いる学級



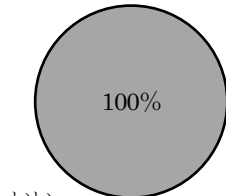
経営方針 5 協働関係の強化

経営目標 12 保護者・地域人材を活用した授業を実施して、地域・保護者との協働意識を高める。

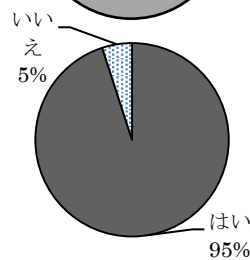
職員の自己評価；保護者・地域人材を活用した授業を年3回以上実施した職員の割合



児童の自己評価；いろいろな人のかかわりの中で学習していると感じている児童が70%以上いる学級



保護者アンケート；「学校は、保護者や地域との関わりを大事に授業を展開している」と回答した保護者が80%以上いる学級



〈学校長より〉

今年度、各ご家庭からのアンケート回収率は81%でした。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う非常事態宣言のため4月、5月が臨時休業となり、6月の再開後も音楽での演奏や合唱、体育の水泳や体を接触する運動、家庭科の調理実習、そして各教科での話し合い活動など多くの学習内容や学習方法が制限され、実施を見送らなければならない日々が続きました。教育課程を変更し、土曜授業を12回実施することにしたり、会議を減らして平日の授業時数を増やしたりするなど、日々の健康管理を第一にしながらも、学習内容の確実な履修を進めてまいりました。その結果、どの学年も今年度の学習内容は無事修了できる見込みとなっています。しかし授業参観は「スポーツの日」以外はできていませんし、保護者会も紙面開催のみとなっています。保護者の方に子供たちが活躍している様子を見ていただく機会をもてなかったことは本当に残念です。また、これまで栄小が進めてきた地域との連携についてもほとんど停止した状態となってしまいました。そのため、小中連携をはじめPTA活動、地域協力者やゲストティーチャーの積極的な活用など、やりたくてもできなかったことがあまりにもたくさんあったことに悔しさを感じる1年でもありました。今回お示いたしましたアンケート結果はこれまでにない日々を見ていただいたものであり、学校の一つ一つの判断に様々なご意見があることを感じるものでもありました。外部評価委員の皆様におかれましては、評価すること自体が難しい項目もあることと思いますが、ぜひ忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。そしていただいたご意見を次年度の教育活動に生かしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

経営目標 10；「栄小のよい子の生活」を守ることに「守っている」という回答が多く上がりました。きまりを意識して学校生活を送れていることが分かります。落ち着いた生活が送れるようにこれからも声を掛けていきます。

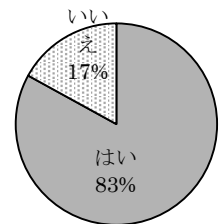
職員は毎日、放課後の消毒作業に取り組んでいます。やればやるほど気になる点が増えてくるのが現状です。週に1回、職員の人権意識を高める研修を行っています。放課後の公園パトロールも行いました。意識して取り組んでいる最中なので、職員の自己評価が低くなっています。

経営目標 11；例年、挨拶運動等を通し、工夫した取り組みを行ってきましたが、コロナ禍で挨拶運動は中止となったことが、職員の自己評価に表れています。その現状の中で、児童や保護者の方から肯定的な評価が得られたのは日常の挨拶が定着してきているという嬉しい結果です。学校・家庭・地域が一つになって挨拶の声が自然に出てくるように日常の中で働きかけていきます。

経営方針 6 業務改善

経営目標 13 業務の改善を通して働き方改革を推進する。

職員の自己評価；1日の勤務時間が10時間以内になるように意識した職員の割合



経営目標 12；コロナ禍で地域の方を招いての授業がなかなか思うようにできませんでした。その中でも、50周年行事を通して地域の方と栄小のあゆみを振り返ることができたのは本年度の大きな成果です。

経営目標 13；1日の勤務時間が10時間以内になるように毎日意識して勤務する職員の割合が10月にとった数値より上昇しており、働き方への意識改革が進んでいます。実際の業務内容を整理することで実行できるようにしていきます。